

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科1年制	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理光学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年	学 期	後期	教室名	第2合同校舎702教室
担 当 教 員	高宮 麻也子 他				
実務経験と その関連資格	<p>【実務経験】 視能訓練士として総合病院、クリニックに勤務。光学的屈折矯正検査に従事。</p> <p>【関連資格】 視能訓練士</p>				
《授業科目における学習内容》					
<p>屈折検査の手順を理論に基づいて書ける。 眼光学における図式の表記、計算ができる。</p>					
《成績評価の方法と基準》					
<p>本試験80%、平常点20%</p>					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
<p>視能学第3版(小林 義治、松岡 久美子、臼井 千恵、岡 真由美編集:文光堂,2022) 生理光学ドリルⅡ(滋慶教育科学研究所:滋慶出版, 2014)</p>					
《授業外における学習方法》					
<p>生理光学ドリルⅡをしておくこと。</p>					
《履修に当たっての留意点》					
<p>生理光学の計算は必ず国家試験に出ます。生理光学ドリルを活用し、たくさん問題を解いてください。</p>					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	生理光学ドリルが解ける。	教科書 生理光学ドリルⅡ 配布資料	生理光学ドリルをしておくこと	
	各コマにおける授業予定	分数視力、対数視力、logMAR、ETDRSチャート			
第2回	授業を通じての到達目標	生理光学ドリルが解ける。	教科書 生理光学ドリルⅡ 配布資料	生理光学ドリルをしておくこと	
	各コマにおける授業予定	頂点間距離			
第3回	授業を通じての到達目標	生理光学ドリルが解ける。	教科書 生理光学ドリルⅡ 配布資料	生理光学ドリルをしておくこと	
	各コマにおける授業予定	プリズム効果、網膜拡大効果			
第4回	授業を通じての到達目標	生理光学ドリルが解ける。	教科書 生理光学ドリルⅡ 配布資料	生理光学ドリルをしておくこと	
	各コマにおける授業予定	不同視・不等像視			
第5回	授業を通じての到達目標	屈折矯正の計算ができる	教科書 生理光学ドリルⅡ 配布資料	生理光学ドリルをしておくこと	
	各コマにおける授業予定	屈折矯正			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	屈折矯正の計算ができる	教科書 生理光学ドリルⅡ 配布資料	生理光学ドリルをやっておくこと
	各コマにおける授業予定	屈折矯正		
第7回	授業を通じての到達目標	収差について理解できる	教科書 生理光学ドリルⅡ 配布資料	生理光学ドリルをやっておくこと
	各コマにおける授業予定	レンズと眼の収差について		
第8回	授業を通じての到達目標	収差について理解できる	教科書 生理光学ドリルⅡ 配布資料	生理光学ドリルをやっておくこと
	各コマにおける授業予定	レンズと眼の収差について		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			